

サンゴ礁ウィーク2017 報告書

2017年4月

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
サンゴ礁ウィーク 2017 実行委員会

○サンゴ礁ウィーク 2017 の実施について

石垣市では、2011 年から 2016 年まで、地域が主体となり 3 月 5 日（サンゴの日）の前後一週間をサンゴウィークとし、サンゴ礁の保全に関する様々な活動を展開していた。そこで、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会では、石垣市で取り組まれている活動を沖縄県全体に広げ、多くの県民の参加のもと、これらの活動が相互に繋がりを持ち、サンゴ礁を大切にする県民の心を育むことを目的として、平成 26 年 3 月に第一回目となる「おきなわサンゴ礁ウィーク 2014」を開催した。平成 28 年からは企画名を「サンゴ礁ウィーク」とし、サンゴ礁保全に関わる団体・個人を沖縄県に限らず広く支援する方針を示した。

平成 29 年には、第四回目となる「サンゴ礁ウィーク 2017」を平成 29 年 2 月 24 日（土）～3 月 12 日（日）に実施した。期間中はシンポジウムや磯の観察会などの体験型イベントなど 26 団体の共催によるイベントが沖縄県内外で開催された。

<サンゴ礁ウィーク 2017 実行委員会の開催>

以下のとおり実行委員会を開催した。

実行委員：中野義勝、吉田稔、藤田喜久、鈴木倫太郎、案納昭則、小菅陽子、後藤亜樹、一般財団法人沖縄県環境科学センター（山川英治）、一般社団法人キュリオス沖縄（仲栄真礁）、沖縄県環境生活部自然保護課（古田さゆり）

日時：第一回 2016 年 11 月 19 日

第二回 2016 年 12 月 13 日

第三回 2017 年 3 月 31 日

内容：実施要領等の作成、イメージ展開準備、広報先等調整など

<イベント登録>

平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 1 月 8 日の期間に当協議会メーリングリストや HP 上にてイベント実施者の募集を行った。また、昨年度おきなわサンゴ礁ウィークにてイベントを実施していただいた団体に協力を依頼した。

イベントを実施するにあたり、会場使用を希望する団体に対しては、県立博物館・美術館のこともアトリエ、県民アトリエを当協議会が借用し、会場を使用したイベントを実施できるようにした。また、希望する各イベント主催実施者に 2 万円の支援金を支給した（20 団体）。

登録があったイベントは、昨年の 24 件から 6 件増の計 30 件となった。各イベントの主催者、イベント名、開催日時については、表 1（サンゴ礁ウィーク 2017 期間中に開催されたイベント一覧）に示す。

<わたしのさんご礁イメージコンテストの実施>

2016年11月1日から2017年1月11日の期間で作品の募集が行われたが、応募作品が少数であったため、応募締め切りを2月10日まで延期した。結果、写真部門に15点、絵画部門に13点の応募があり、各部門から最優秀賞を1点ずつ選出した。



『色の世界』

(作者：モンテローラ・カイラ・マリ氏)



『サンゴ礁のめぐみ〜宮古島狩俣のイラウツアン』

(撮影者：田村裕氏)

<タラ号太平洋プロジェクト 2016-2018 との連携>

太平洋のサンゴ礁域を調査しているフランスの科学探査スカーナ船タラ号が日本へ寄港するのに合わせてサンゴ礁ウィークと連携し、効果的に広報を行った。タラ号には3月5日からサンゴ礁ウィークの旗（デザイン：大城愛香氏）を掲揚してもらい、4月16日に当協議会へ返還していただいた。



タラ号に手渡されたサンゴ礁ウィーク旗

Facebook ページより引用

(<https://goo.gl/Tsx1Ak>)



タラ号から返還されたサンゴ礁ウィーク旗

左からタラ号船長 サミュエル・オーランド氏

当協議会会長 中野義勝氏

筑波大学 Sylvain Agostini 氏

<広報>

▶ 広報資料を用いた周知

広報用にステッカー、シール、チラシ、ポスターのデザインをイラストレーターの大城愛香氏に依頼し、表2の部数で制作した。また、アラムコ・アジア・ジャパン（株）よりスタッフジャンパー200着の提供があり、参加団体と沖縄県自然保護課内に配布した。県内のコンビニエンスストア LAWSON 13店舗と県内のイオン5店舗において、2月1日からサンゴ礁ウィーク期間終了まで沖縄県広報課を通してポスターを設置した。また、事務局より県内の小学校・中学校・高等学校へメールでチラシデータやイベント情報を連絡した。2017年のチラシの部数については、紙資源節約の観点から配布先を再検討して大幅に減らした。

表1. 2016年と2017年の広報資料と部数.

広報資料	部数	
	2016	2017
ステッカー(10×10cm)	300	200
シール(10×10cm)	500	300
ジャンパー	200	200
チラシ(A4)	10000	6000
ポスター(B2)	200	200

主な配布先：イベント登録団体、実行委員会、共催や後援団体、サウジアラムコ、沖縄県^{※1}

※1：沖縄県からは県関係機関、市町村、市町村立図書館・博物館、県内大学、観光関係（沖縄観光コンベンションビューロー等）へ配布し、広報依頼を行った。報道機関については、後援依頼、広報依頼、取材依頼を行った。

▶ Facebook ページを用いた広報

昨年開設した Facebook ページを使って企画全体や各イベントの情報を発信した。また、協議会ホームページにサンゴ礁ウィーク 2017 のページを開設し、各イベントの詳細について案内するようにした。サンゴ礁ウィーク 2017 について Facebook ページの利用を開始した 2017 年 11 月 24 日時点で 224 件だったフォロワー数は、2018 年 3 月 31 日時点では 325 件となっていた。

▶ 沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）による広報協力

共催に入っていたいただいた沖縄観光コンベンションビューローが運営するメディアにサンゴ礁ウィーク開始前後で情報を掲載していただいた。

- ラジオ番組南風通信 (Fm yokohama 84.7)
- マハエちゃんのおきなわ物語 (Facebook ページ、17066 いいね！)
- マハエちゃんのおきなわ物語 (Twitter、フォロワー数 3542)
- 沖縄観光情報 WEB サイト おきなわ物語 (<http://www.okinawastory.jp/event/600009766>)
- 沖縄×島巡り 旬香周島おきなわ (<http://cp.okinawastory.jp/event-a244/>)

➤ ゆいレールへの広告依頼

ゆいレール車内の中吊り広告を平成 29 年 2 月 20 日から平成 29 年 3 月 12 日の期間で行った。前 12 編成（2 車両 1 編成）の車内一箇所に中吊りポスター（200×950mm）を設置した。また、沖縄都市モノレール（株）のご厚意でおもろまち駅、県庁前駅、那覇空港駅の駅構内にチラシを設置していただいた。



ゆいレール車両内の中吊りポスターと駅構内に設置されたチラシ

➤ 沖縄タイムス社と連携した広報

共催団体である沖縄タイムス社に社告（2 月 16 日）を掲載していただいた他、わたしのサンゴ礁展の取材記事（2 月 26 日）や中野会長による論壇記事（3 月 5 日）の掲載をしていただいた。



沖縄タイムス社、2 月 26 日（日）



沖縄タイムス社、3 月 5 日（日）

➤ テレビでの広報

2017年2月17日に放送された『気ままにロハススタイル vol.2777』（琉球放送）内において、サンゴ礁ウィーク 2017についてテロップと出演者による口頭での紹介を行った。



➤ 実施後の情報発信

<南の島のミスワリン>

2017年3月26日に放送された『南の島のミスワリン』（琉球放送）にてサンゴ礁ウィークの様子
が放送された。番組はYouTubeにアップロードされ、Webで閲覧が可能となっている。

URL: 南の島のミスワリン 第65回放送分 vol.2 <https://youtu.be/k8DY7A7NoUU>

<uchina>

共催団体である株式会社沖縄教販が発行する雑誌 uchina vol.25（2017年5月25日発刊）にてサンゴ礁ウィークの実施報告を掲載した。

News
「サンゴ礁ウィーク2017」
3月5日はサンゴの日！
沖縄県内外でたくさんさんのイベントが開催されました！

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会（会長 中野義勝）では、サンゴの日となる3月5日の前後2週間を「サンゴ礁ウィーク」と題し、多様な主体によるサンゴ礁保全・再生への参加を呼びかける週間として実施します。第4回目となる今回は、民間企業やNPO、海人、観光事業者、サンゴ礁研究者、地域の人々など多様な主催者によって合計28件のイベントが開催されました。これらは離島を含む沖縄県各地で開催された他、喜界島（鹿児島県）や東京都など沖縄県外でも実施されました。カヤック体験やグラスボート乗船、海の生き物観察会、地域や観光客を巻き込んだビーチクリーンなどの野外イベントのほか、サンゴの移植苗づくりやサンゴ模様の紅型染め体験なども開催され、幅広い世代を対象としています。来年のサンゴの日にはサンゴ礁ウィークのイベントへぜひ遊びに来てください。

サンゴ礁ウィーク2017
主催／沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
共催／沖縄県、(株)沖縄タイムス社、(株)沖縄教販、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、他
協賛／アラムコ・アジア・ジャパン(株)
後援／日本サンゴ礁学会、沖縄都市モノレール(株)、環境省那覇自然環境事務所、県内各種メディア
問／沖縄県サンゴ礁保全推進協議会事務局(沖縄県自然保護課担当)
☎ 098-866-2243 ✉ coralreef@okikanka.or.jp
<http://coralreefconservation.web.fc2.com/>

uchina vol.25, p67
(株式会社沖縄教販, 5月25日発刊)